

令和5年9月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和5年9月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」に移行されてから、初めて迎えた今年のお盆休み。北奥羽地方は雨の日が多く天候に恵まれなかったものの、祝日と土日を含めて最大で10連休も可能だったこともあり、市内の観光施設には多くの旅行客や帰省客が足を運び、コロナ禍前のような活気が戻ってきました。

八食センターでは、通常9時の開店時間を午前7～8時に早めるなどして対応し、4日間連続で2万人以上が訪れるなど、来場者数は昨年同期比で136.3%まで回復しました。

また、蕪島近くの物産販売施設「かぶーにゃ」では、連日満車が続き、来場者数は昨年同期比で約1割、商品の売上は約3割増加するなど、市内各所が多くの人で賑わい、久しぶりの行動制限がないお盆休みを満喫していました。

今後の秋の観光シーズンや年末年始にも期待が寄せられています。

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 9月号 レポート

令和5年8月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

| 記事 | 概要 |
|-----|----------------------------------|
| (1) | 「八戸モデル」の教材完成 JAMSTEC、市教委と共同開発 |
| (2) | 八戸水産アカデミー今季初開催 外部人材や若者の力必要 |
| (3) | 八戸駅西保留地 購入者を再募集 |
| (4) | 種差海岸三陸復興国立公園指定10周年記念トレッキングイベント開催 |
| (5) | 八戸中心街「みちニワ」スタート 車道が人の滞在空間に |

【産業】

| 記事 | 概要 |
|-----|---------------------------------------|
| (6) | 八戸南郷 夏ニンジン収穫盛ん 地元農業者がプロジェクト 有機栽培3年目 |
| (7) | 純米酒「しまもり」完成 八工大「SDGsプロジェクト」学生ら無農薬米育てる |
| (8) | 八戸産ムラサキイカなどPR 東京で水産の国際見本市 |
| (9) | VISITはちのへがツアー インフルエンサー招く 八戸食魅力発信へ |

【地域】

| 記事 | 概要 |
|------|-------------------------------------|
| (10) | 高校生、斬新アイデア次々 10月22日「はちのへホコテン」企画 |
| (11) | 東方神起 元メンバー、キム・ジエジュンさん「八戸は宝物のような観光地」 |
| (12) | 八戸納涼盆踊り大会 再開、浴衣姿の輪広がる |
| (13) | 八戸花火大会 夏の夜 華やかに |
| (14) | 短歌甲子園 八戸西高が準優勝 |
| (15) | 世界的アルピニスト 坂下直枝さん（八戸出身）講演 |

【文化・スポーツ】

| 記事 | 概要 |
|------|----------------------------|
| (16) | 八戸三社大祭 4年ぶり集結 |
| (17) | 八戸・櫛引八幡宮 人馬一体の妙技披露 |
| (18) | 夏の甲子園 八戸光星 4年ぶりベスト8 |
| (19) | 世界選手権 田澤廉選手（八戸出身）1万メートル15位 |

【行政】

| 記事 | |
|-----|--|
| (1) | <p>「八戸モデル」の教材完成 JAMSTEC、市教委と共同開発</p> <p>子どもたちが課題を発見・解決する能力を育む「STEAM（スチーム）教育」の推進を目指す、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC、神奈川県横須賀市）が、八戸市教委と共同で開発に当たってきた海洋STEAM教育用の教材が完成した。第1弾を小学校高学年向けの「海の生き物と環境の変化」に設定し、計6時間分の学習ができるようにした。教材は一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォームのウェブサイトで公開されている。今後は「八戸モデル」をベースに、各地域の特色に合わせた形で全国展開し人材育成に活用する考え。</p> |
| (2) | <p>八戸水産アカデミー今季初開催 外部人材や若者の力必要</p> <p>八戸市の水産業再興を目指す「八戸水産アカデミー」の本年度初の研修会が8月9日、市内で開かれた。石巻市を拠点に水産業振興を図る「フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング」の津田祐樹社長が「三陸から水産業を新3K産業に」と題して講演。石巻魚市場の仲卸だった津田社長は、震災を機に地元漁師らと手を組み、同社を設立。水産業を新3K（カッコよくて、稼げて、革新的）な産業に変えることを目指し、業種や地域の垣根を超えたPR活動を展開している。講演では、自身の活動を踏まえ、業界活性化には外部人材や若者の力が必要と力説した。本年度のアカデミーは計6会開催予定。</p> |
| (3) | <p>八戸駅西保留地 購入者を再募集</p> <p>八戸市は8月21日、昨年度売却に至らなかった八戸駅西地区の保留地について、購入異業者を再募集すると発表した。保留地の用途地域は商業地域で、面積は約5525平方メートル。駅西口とフラット八戸を結ぶシンボルロード沿いにある。最低売却価格は周辺の土地の売買状況を踏まえ、昨年度から552万5千円引き上げ、3億7239万8千円に設定。公募への参加表明を9月21日、申込書類受付を10月31日まで設け、公募型プロポーザル方式で事業者を選定する。12月1日に結果を発表する見通し。</p> |
| (4) | <p>種差海岸三陸復興国立公園指定10周年記念トレッキングイベント開催</p> <p>八戸市は、種差海岸が三陸復興国立公園に指定されて10周年を迎えたことを記念して、国立公園内のみちのく潮風トレイル及び三陸ジオパークをトレッキングするイベントを開催する。市民など多くの人に種差海岸の自然の魅力を感じてもらうことで、種差海岸の認知度向上と利用促進を図り、地域活性化及び次世代への継承を目指す。開催日は、10月7日9時～14時までで、ゲストに俳優の市毛良枝さんを招き、ネイチャーガイドと共に葦毛崎展望台から種差天然芝生地までのみちのく潮風トレイルを、大須賀海岸の鳴砂や深久保の白岩などの三陸ジオパークジオサイトに触れながら一緒にトレッキングする。トレッキング後は、市毛さんによるミニトークショーも開催する。参加料は2千円で定員は60名。応募多数の場合は抽選となる。応募は9月24日まで。</p> |
| (5) | <p>八戸中心街「みちニワ」スタート 車道が人の滞在空間に</p> <p>八戸市まちなかストリートデザイン実証試験「みちニワ」が8月31日～9月11日まで、市中心街の三日町・十三日町街区の国道340号線で行われた。市が進める「中心街ストリートデザイン事業」の一環で、3車線のうち、1車線を人の滞在空間として活用。キッチンカーやテーブル・椅子、ステージなどを設け、空間を楽しむ催しを実施しつつ、にぎわい創出効果や車両交通への影響などを調査した。実証試験での結果を検証し、本年度内に同区域の街路整備や空間活用の方向性を定める「ストリートデザインビジョン」を策定する方針。</p> |

【産業】

| 記事 | 概要 |
|-----|---|
| (6) | <p>八戸南郷 夏ニンジン収穫盛ん 地元農業者がプロジェクト 有機栽培3年目</p> <p>八戸市南郷で、移住を機に就農した地元農業者による「なんごう夏にんじんプロジェクト」が栽培している夏ニンジンが収穫期を迎えている。有機JAS認証栽培の取り組みは3年目。作付品種「恋夏」はみずみずしさや甘さが特徴で産地は北海道や北東北に限られる。引き合いは強いが、先行事例が少なく栽培法確立までは時間がかかる見込み。品質向上へ試行錯誤を続けながら、新規就農者らが手がけて地域活性につながることを目指し、収益を上げられるようにしていく考え。</p> |
| (7) | <p>純米酒「しまもり」完成 八工大「SDGsプロジェクト」 学生ら無農薬米育てる</p> <p>八戸工業大と八戸酒類、地域資源の発掘に取り組む八戸市の住民団体「ふるさとルネッサンス」は8月9日、同市島守地区で無農薬栽培された「まっしぐら」を原料とした八鶴特別純米酒「しまもり」が完成したと発表した。同大が展開する「しまもりSDGs実践プロジェクト」の一環。無農薬栽培で環境に配慮しながら、日本酒開発によって無農薬米自体の価値を高めることで持続可能な農業につなげられるかを模索している。商品はコクとふよかさを兼ね備えたバランスの良い味に仕上がったという。ラベルは「新しいクラシック」をテーマに学生らのアイデアを基に2種類を制作。価格は720ml入り1672円（税込み）。今後は首都圏への出荷も見込む。</p> |
| (8) | <p>八戸産ムラサキイカなどPR 東京で水産の国際見本市</p> <p>「第25回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」が8月23～25日まで東京ビッグサイトで開催された。大日本水産会の主催で、国内外の水産加工業者、漁業関係者など600以上の団体が出展し自社の製品や技術を発信。全国いか釣り漁業協会と八戸市内の関係団体が連携し、同港水揚げのムラサキイカをPRした。市も隣にブースを構え、市水産物ブランド認証商品や市第3魚市場荷さばき施設A棟の特性などを紹介した。関係者は、新規客層を広げることで、漁業者の励みになればと宣伝効果に期待を寄せた。</p> |
| (9) | <p>VISITはちのへがツアー インフルエンサー招く 八戸食魅力発信へ</p> <p>VISITはちのへは8月26日、Instagramで食の情報を発信するインフルエンサーを八戸市に招き「食のまち八戸～八戸圏域魅力深掘りツアー～」を実施した。食のまち八戸プロモーション事業の一環で、女子旅や1人旅などのお薦めを紹介し、約51万人のフォロワーがいる「トンちゃん」と、旅行先のグルメなどを発信する「みの夫婦」2組が、同市の食育料理家なぎさなおこさんと市内を巡り、地域の伝統料理や食文化の魅力を体験した。同事業では、ツアーでの意見などを踏まえ、東京の八戸都市圏交流プラザ「8 base（エイトベース）」をはじめ、首都圏の八戸圏域関連飲食店と連携した名物メニューの提供やPRに役立てる方針。</p> |

【地域】

| 記事 | 概要 |
|------|--|
| (10) | <p>高校生、斬新アイデア次々 10月22日「はちのへホコテン」企画</p> <p>八戸市中心街を歩行者天国とする恒例の「はちのへホコテン」で、10月22日の開催日は、初めて高校生主体の企画が行われる。参加は青森県立八戸高、八戸東高、千葉学園高、県内の高校生団体「LINDEAL（リンディール）」など。「高校生・若者まちなかワーキンググループ」の初会議に集まった高校生らからは、渋谷のようなハロウィーンの仮装、巨大な何かの設置、プロジェクションマッピングなど話題性やインパクトに富んだアイデアが次々と生まれている。中心街に関わる大人たちは、街に活気を生む一手になればと期待を寄せる。</p> |

| | |
|------|---|
| (11) | <p>東方神起 元メンバー、キム・ジェジュンさん「八戸は宝物のような観光地」</p> <p>人気グループ「東方神起」の元メンバーで韓国出身の男性歌手キム・ジェジュンさんが、7月25日に韓国・ソウルで開かれた日韓観光セミナー（観光庁主催）のトークショーで、日本で宝物のような観光スポットとして八戸市を挙げた。セミナーには日韓の政府・観光関係者、メディアら約400人が出席。ツアーで日本国内約50地域を訪問しているというジェジュンさんは、八戸市は、地元の食材が安くておいしいとし、「コスパが良く、人情あふれる地域」と紹介。“ジェジュン効果”で、八戸を訪れるファンや観光客が増えるかもしれない？</p> |
| (12) | <p>八戸納涼盆踊り大会 再開、浴衣姿の輪広がる</p> <p>第62回八戸納涼盆踊り大会（デーリー東北新聞社、八戸商店街連絡協議会主催）が8月11日、八戸市庁前市民広場で4年ぶりに開催された。午後5時半に開会され、辺りが徐々に暗くなると、太鼓や三味線などの生演奏で盆踊りが始まり、浴衣姿の老若男女が何重もの輪を作り「八戸小唄」や「八幡馬」などを踊った。「お楽しみ抽選会」や屋台などの出店もあり、参加した市民ら約2千人は久々の夏の風物詩を満喫した。</p> |
| (13) | <p>八戸花火大会 夏の夜 華やかに</p> <p>第43回八戸花火大会が8月20日、八戸市の館鼻漁港で開催された。今回は八戸ー苫小牧のフェリー航路開設50周年、種差海岸の三陸復興国立公園指定10周年を共に記念して開催された。会場での観覧は有料席の購入者と招待者に限定し、入場者数の上限はコロナウィルス対策が必要だった昨年の5千人から7千人に引き上げられた。同公園の景観と東日本大震災の犠牲者への祈りをイメージした記念プログラムのほか、全国の有名花火師が制作した特別花火など趣向を凝らした約6千発の打ち上げ花火が夏の夜を華やかに彩り、見物客を魅了した。</p> |
| (14) | <p>短歌甲子園 八戸西高が準優勝</p> <p>第18回全国高校生短歌大会「短歌甲子園2023」の団体戦決勝戦が8月20日、盛岡市で行われ青森県立八戸西高が準優勝を果たした。同校は4年連続の出場。今大会には全国から21校が出場し、19日の団体戦1次リーグを突破し8校が決勝トーナメントに進出。2年ぶりの優勝は逃したが、2年の奥銀次郎さん、共に1年の高畑道磨さん、作山優斗さんの3人全員が大会初出場ながら、それぞれの感性が光る作品を発表し、堂々とした戦いぶりを見せた。また、チームを率いた奥さんは、大会を通じて最も先鋭的な短歌の作者に送られる石川啄木賞を受賞した。</p> |
| (15) | <p>世界的アルピニスト 坂下直枝さん（八戸出身） 講演</p> <p>世界的なアルピニストで、登山用品の輸入代理店「ロストアロー」（東京）を経営する企業家・坂下直枝さん（八戸市出身）の特別講演会が8月17日、市内で開かれた。坂下さんは世界第2位の高峰・K2北稜の無酸素初登攀記録などを有する。講演会では、地元で過ごした高校生までの生活や、登山での過酷な経験、会社を設立した経緯など、人生を振り返りながら自身の生き方や会社経営にどのような影響を与えたかなどを紹介した。</p> |

【文化・スポーツ】

| 記事 | 概要 |
|------|--|
| (16) | <p>八戸三社大祭 4年ぶり集結</p> <p>4年ぶりに神社行列と山車の合同運行が復活した青森県南地方最大の祭り、八戸三社大祭が7月31～8月4日まで開催された。5日間の日程は全て平日だったが、2019年実績に迫る累計106万3千人の入り込み数を記録した。中心街で行われた4日の後夜祭では、目抜き通りと市庁前市民広場に山車が並び、闇に浮かぶ幻想的な歴史絵巻を繰り広げる中、囃子方が熱のこもった今年最後のお囃子を披露。まちは感動に包まれ、集まった大勢の観客は祭りの終わりを名残惜しんだ。一方で各山車組はコロナ禍の空白により、例年以上に引き子や制作陣の確保に苦慮し、今後も市民が参加しやすい時代に即した環境整備が求められる。</p> |
| (17) | <p>八戸・櫛引八幡宮 人馬一体の妙技披露</p> <p>全国流鏝馬第8回八戸大会が8月11日、八戸市の櫛引八幡宮で開かれ、青森県内外から参加した約40人の選手が人馬一体の妙技を披露した。大会は個人、団体、勝ち抜き戦のほか、小中学生が出演して生徒、学生が運営を担うチャレンジマッチも実施した。選手は三つの的が設けられた約150メートルのコースで、的中数とタイムを競い合った。木漏れ日が差し込むコースを馬がさっそうと駆け抜け、はかま姿の騎手が的を射抜くと、観客から拍手が沸いた。</p> |
| (18) | <p>夏の甲子園 八戸光星 4年ぶりベスト8</p> <p>全国高校野球選手権大会に2年連続で出場した青森県代表の八戸学院光星は、8月19日、土浦日大（茨城）との準々決勝で2-9で敗れ、準優勝した2012以来の4強入りはならなかった。それでも、初戦の2回戦、続く3回戦では投打で高いレベルをアピールした。青森県大会から好投を続けてきた洗平投手と岡本投手の「ダブルエース」と大会屈指の「強力打線」が聖地で躍動し、4年ぶりのベスト8入りしたナインの足跡は、県内高校野球史に確かに刻まれた。</p> |
| (19) | <p>世界選手権 田澤廉選手（八戸出身）1万メートル15位</p> <p>陸上の世界選手権第2日は8月20日、ブダペストで行われ、男子1万メートルに田澤廉選手（八戸出身・トヨタ自動車）が出場した。結果は、28分25秒85で15位だった。後半のペースアップに備えて集団の前の方でレースを進めたが、8000メートル付近で脱落。トップレベルの走りは想像以上だった。昨年はレース中盤に失速して20位。今年は終盤まで集団に食らいついて順位を五つ上げた。田澤選手は「昨年よりはしっかり戦えた。来年また結果を残せるような選手になって、パリ（五輪）の舞台をつかみたい」と成長も感じ取っていた。</p> |

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



送付先

八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。